

【中学部】～ 平成 31 年度都立高校推薦入試に向けて ～

今回は約3ヶ月後に迫った都立高校推薦入試に向けて少しお話したいと思います。平成31年度の都立推薦日は“2019年1月26日～27日”です。

毎年1月の出願間近になって慌てる生徒さんがいますが、準備不足でボロが出るのは明らかです。

また東京都教育委員会が出している『平成31年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ』でも「個人面接では、出願の動機・理由、興味・関心、高校生活に対する意欲、適性、規範意識・生活態度や自己 PR カードの記載内容、中学校におけるさまざまな活動の状況及び将来の進路希望などを確かめたり、質問の内容を的確に把握し適切に応答する能力や表現力などを評価したりします。」

とまで書かれています。

中学校によっては自己 PR カードをギリギリで配付してきたり、面接練習も直前に1回実施されたりということもあるかもしれません。しかしそれを中学校のせいにしてもなんの意味もありませんし、推薦入試が延期されるわけでもありません。

さらに直前で準備しても高校の先生にはバレバレです。推薦を受ける可能性のある生徒さんは自主的に動き早めの準備を心がけましょう。

さてご存じのように推薦入試では“集団討論、個人面接、小論文 or 作文”が課せられます。以下に例を挙げてみたいと思います。

《集団討論例》

○国立高校

自動化されると良いと思うものは何ですか。

○東大和南高校

これからの時代に生きる人に、より一層求められるものは何か。選択肢の中から最も重要なものを一つ選び、具体的な理由とともに発表する。

(選択肢)知識／発信力／思いやり／生活力／情報編集力／情熱／自信／責任感／アイデア／計画性／状況把握力／夢

《作文テーマ例》

○杉並高校

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催時には、多くの外国の方が東京を訪れます。

迎える側の私たちには、異なる文化を理解し行動することが求められています。この異なる文化を理解し行動すること、とはどのようなことなのか、自分自身の体験や見聞など、具体例をもとにしたあなたの考えと、その実現のために杉並高校でどのように過ごしたいかを書きなさい。

○東大和高校

外山滋比古著「心の遠近法」(抜粋)を読んで、「友人との付き合い方」について思うことを、あなたの体験を踏まえて書きなさい。

さて、中3受験生の皆さんはどうでしょうか。

もちろん学校でも集団討論や個人面接の練習はしてくれと思います。ただそれだけで安心はできません。秋～冬に開催される塾の集団討論授業と模擬演習に必ず参加してもらいたいと思います。小論文 or 作文も、毎月添削してくれる作文講座を活用しましょう。

最近の傾向として、人工知能系、自動化、東京2020オリンピック・パラリンピック、などの質問が増えてきたように感じます。時事問題に絡めた問題も多いですから、今後は国際化(英語4技能)や自然災害やそれに関する内容も出てくるかもしれません。少なくともこの3ヶ月はニュースや新聞に目を通して時事に強くなっておく必要があります。インターネットのニュースも良いですが、それですとついつい自分の興味のある記事しか読まなくなります。興味の有無にかかわらずまんべんなく読みましょう。

また意外と見落としがちなのが“自己PRカード”(志望理由、中学校生活の中で得たこと、

(卒業生と推薦入試の様式です。)

| | | | |
|--------------------------|--------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 学校番号 コ-大和(19)校 | 受験番号 コ-大和(19)校 | 学校番号 コ-大和(19)校 | 受験番号 コ-大和(19)校 |
| 氏名 姓 名 | 性別 男 女 | 学年 一 般 選 抜 一 般 選 抜 | 志望校 一 般 選 抜 一 般 選 抜 |

自己PRカード

東京都立 高等学校 期 年 月 日
立 中 学 校
氏 名

1 志望理由について
(この学校を選んだ理由と入学してから自分が取り組みたいことなどについて「学校の期待する生徒の姿」を参考に記入しましょう。)

『本校の期待する生徒の姿』を参考にしたり、学校説明会などに参加して説明を聞いたり、学校案内パンフレットを見たりして、各学校の特色をよく理解してから記入するようお願いいたします。

2 中学校生活の中で得たことについて
(中学校生活の中で自分が得意になったことや学校内外で体験したことなどから、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

3年間の中学校生活において、
 ① 総合的な学習の時間で学んだこと
 ② 学校内での学級活動、生徒会活動、学校行事や部活動など
 ③ 学校外での文化的な活動、スポーツ活動、ボランティア活動や資格・検定などの取得
 ④ その他の活動
 などの中から、特に伝えたいことを選び、あなたがその体験から得たことについて具体的に記入しましょう。

3 高等学校卒業後の進路について
(将来の夢や目標、将来やりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

① 今自分が思い描いている将来の夢や目標
 ② 将来なりたい職業、その職業に就きたい理由、その職業に就くことができるよう努力していることなど
 ③ 高校卒業後の具体的な進路などについて、自分が考えていることを具体的に記入しましょう。

(注) 1 志願書付属のボールペンで記入する。
 2 コピー用紙に印刷されたものを提出する。
 3 推薦は推薦状を提出する。学力検査に基づく選抜において推薦を希望する場合は志願書添付用紙に、この自己PRカードを添付して提出する。また、志願の対象となる第一志望校における推薦生数の変更についての留意又は定時制入試受験資格に関する事項については、推薦状を提出する。

※ チャレンジスクールのある学校(2ページ参照)に出席する場合は、自己PRカードに代えて、各学校指定の「志願書添付書」を提出します。

高校卒業後の進路について)の記入です。簡単に思えるかもしれませんが、各高校が発表している『本校の期待する生徒の姿』を参考にしたり、学校説明会などでその高校の特色をよく理解しておく必要があります。詳しくは東京都教育委員会が出している『平成31年度東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ』を参考にしてみてください。

最後に注意を1つ。推薦入試のために準備は必要です。ただし、あくまで基準となる内申をしっかりと取ってこそ、の準備です。期末試験をおろそかにしないようにしてください。

中1～2生の皆さんも「まだまだ先だし…」と思わず、しっかり内申を取ること。また普段からニュースや高校に興味を持っておくことが大切です。